

IV 普及・展示事業

1. 展示

広く一般多数の方々を対象とした東洋学の普及を図る手段として、「東洋文庫ミュージアム」を運営した。

A. 基本方針

このミュージアムでは、特に東洋学に興味を持たない一般の方々を主な対象とし、幅広い世代の利用者に、ミュージアム見学を通して東洋学に興味を持つ機会を提供する。本ミュージアムは、東洋文庫の蔵書・資料を中心に種々の展示企画を組み立て、常に新たな発見と変化のある展示を心がけている。

B. 展示手法

広く一般の方々にミュージアム訪問の興味を喚起するため、①見学に適切な規模の展示内容とし、②展示の解説は日頃東洋学とは疎遠な利用者にも十分理解できる簡易なものとし、③デジタル技術等を取り入れた視聴覚的かつ斬新な展示で利用者の興味を引くことに努めた。

C. 施設

温度・湿度管理、窒素ガス消火設備運用により、展示図書・資料の保全に万全を期した。また、併設のギフト・ショップ、ミュージアム・カフェでは、東洋文庫の所蔵資料も紹介し、一般利用者に対してミュージアムの魅力を高め、東洋学普及の一翼を担う、ミュージアムとの一体施設として運営した。

D. 展示スケジュール

名品展と企画展の組み合わせからなる展示スケジュールを立て、以下の展示を開催した。

(1) 名品展は国宝と重要文化財などの指定品のほか、東洋文庫が所蔵する名

品を、年3回内容を変更して公開した。

- (2) 以下の企画展を開催し、図録を発行した。

〈企画展〉

「インドの叡智展」(会期：2019年1月30日～5月19日)

「漢字展—4000年の旅」(会期：2019年5月29日～9月23日)

「東洋文庫の北斎展」(会期：2019年10月3日～2020年1月13日)

「大清帝国展」(会期：2020年1月25日～5月17日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月3日以降は休館し、閉幕日まで公開を中止した。

〈名品展〉

「記録された記憶～東洋文庫の書物からひも解く世界の歴史」

- (3) 各企画展において展示図録を作成した。全ページカラーで画像を多用し、解説文も平易で分かりやすいものに仕上げた。A5版でハンディなブックレットタイプである。

- (4) 上記企画展会期中に公開講座(企画展示記念講座)を開催した。講演者と演題は、pp.110～111の通りである。

- (5) 六義園特別展示「六義園をめぐる歴史」を開催した。

会期：①3月20日～4月8日

②11月20日～12月9日

会場：東洋文庫ミュージアム1階オリエントホール

E. ガイドツアー

ミュージアムへの来客サービス・集客戦略の一環として、希望者を対象に館内ガイドツアーを実施し、好評を得た。

F. ミュージアム諮問委員会

ミュージアムの運営について外部有識者の意見を取り入れるため、第5回ミュージアム諮問委員会を2019年7月17日に開催した。

G. 学習支援事業

- (1) 学校連携

- ① 東京藝術大学との協力協定により、東洋文庫の創立記念セレモニーにあわせてミュージアム内にてコンサートを開催し、多数の来場者を得た。また、同学彫刻科の卒業作品から一作品を選出して「東洋文庫賞」を授与し、東洋文庫敷地内のオープンスペースにて1年間作品を展示した。
 - ② 成蹊大学図書館との協力協定により、東洋文庫の蔵書を大学図書館入口にて常設展示した。
 - ③ スクールパートナーシップを結んでいる東京都立小石川中等教育学校の中学1年生160名の見学会を実施した（4月26日）。
 - ④ 東京都立小石川中等教育学校の中学2年生2名が6月18日～6月20日の3日間、文庫職員の指導のもと、ミュージアム受付やガイド、パネル作成等の職場体験を行った。
 - ⑤ キャンパスパートナーシップを結んでいる東洋大学文学部の学生3名を8月1日～8月3日・8月7日～8月10日、12月3日～12月6日・12月10日～12月12日に受け入れ、それぞれ学芸員が対応して博物館実習を行った。
 - ⑥ 千葉県富里市在住の小学5、6年生を対象に見学会を行った（8月21日）。
 - ⑦ 文京区立駕籠町小学校2年生の授業「まちたんけん」に学芸員が対応した（10月25日）。
 - ⑧ 文京区立駕籠町小学校5年生の授業の一環として見学会を行った（10月16日）。
 - ⑨ 筑波大学附属視覚特別支援学校の中学部男子1名、女子1名に、東洋文庫ミュージアム運営に関する職場体験を実施した（11月15日）。
- (2) ミュージアムワークショップ、イベント
 幅広い年齢層にミュージアムをお楽しみ頂くために、学習支援事業の一環として、下記のワークショップとイベントを開催した。

【ワークショップ】

インドの叡智展（会期：2019年1月30日～5月19日）

5月12日

「遊んで学ぼうインドの叡智展 ミュージアム探検とワークショップ」

伊豆原月絵（日本大学教授）、日本大学ミュージアム・アソシエイト

漢字展—4000年の旅（会期：2019年5月29日～9月23日）

8月4日

「論語から生まれた、大人も読めない書けない四字熟語ワークショップ」

小島毅（東京大学教授）、論語教育普及機構主催

東洋文庫の北斎展（会期：2019年10月3日～2020年1月13日）

11月30日

「東洋文庫×修復のお仕事展 『変り屏風を作ろう！』」

三浦功美子（伝世舎）

12月8日

「東洋文庫×修復のお仕事展 『フレームで絵葉書を飾ろう！』」

鈴木香里（修復師）

大清帝国展（会期：2020年1月25日～5月17日）

2月23日

「自分にぴったりの薬膳茶をつくろう！」

末次真緒（漢方薬剤師）

【イベント】

インドの叡智展（会期：2019年1月30日～5月19日）

5月3日～5月5日

「インディアン・ビアガーデン：インド舞踊の特別ステージ」

野火杏子（インド舞踊家）、安延佳珠子（インド舞踊家）

H. 文京区向けの普及活動

- (1) 文京区立千石図書館との連携講座として、近隣住民を対象に、研究員の案内によるバックヤードツアー（10月10日）、学芸員による講演会（10月20日）を開催した。
- (2) 文京区の文の京ミュージアムネットワークの会員として文京ミューズフェスタ（各施設による展示・体験コーナー、PRポスター、パネル等の掲示）に参加した（12月19日、於：文京区役所1F）。

I. 図書展示コンサルティング

ミュージアムにおける図書資料展示の経験を役立てるため、学芸員が下記

のイベント・研修会において講演や実演を行った。

- (1) 11月12日 図書館総合展ワークショップ
- (2) 12月20日 神奈川県立図書館研修会

J. 入場者数

2019年4月1日～2020年3月31日における、ミュージアム総入場者数は以下のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入場者数	4,062	5,851	3,955	4,073	4,202	4,541
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4,733	7,631	6,493	5,496	3,251	182	54,470

2. 広報普及

東洋文庫所蔵の図書・資料の掲載・報道・放映等の依頼に適宜対応すると共に、ホームページを随時更新し、利便性を確保した。東洋学の若年層への普及を目指し、学校連携活動も行った。

A. 要人の訪問

アラン・クラウディオ・ベロー (Alan Claudio Beraud) 駐日アルゼンチン大使、マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス (Martha Lidia Zelayandía Cisneros) 駐日エルサルバドル大使、サンジェイ・クマール・ヴァルマ (Sanjay Kumar Verma) 駐日インド大使、フランス政府査察団一行、他。

B. 報道実績

ミュージアムに関する報道実績の主なものを以下に挙げる (50音順)。

新聞：『朝日新聞』、『東京新聞』、『美術新聞』、『毎日新聞』、『読売新聞』など

テレビ：NHK WORLD-JAPAN・NHK Eテレ『TOKYO EYE 2020』、CNBC

Asia『Channel JAPAN』、テレビ朝日『じゅん散歩』、日本テレビ『ヒルナンデス!』など
インターネット動画配信：『ニコニコ美術館』など

C. 『東洋見聞録』

東洋文庫の活動をご支援頂いている「名誉文庫員」、「友の会会員」、職員OBほか関係者をつなぐニュースレターとして発行・頒布した。

D. メールニュース

東洋文庫ミュージアムのメールニュースをメール会員向けに毎月発信した。

E. 中学・高校・大学とのミュージアム・フリーパス連携

- ・東京都立小石川中等教育学校とのミュージアム・フリーパス連携を引き続き締結した。
- ・青山学院大学文学部史学科・大学院文学研究科史学専攻、東洋大学文学部・大学院文学研究科とキャンパスパートナーシップを引き続き締結した。
- ・昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科および日本語日本文学科と新たにキャンパスパートナーシップを締結した。

F. 他機関との連携

「漢字展—4000年の旅」(2019年5月29日～9月23日)の開催にあわせ、五島美術館・大東急記念文庫、神奈川県立金沢文庫、慶應義塾大学斯道文庫、静嘉堂文庫との連携展示「特殊文庫の古典籍」に参加。スタンプラリーや入館料割引などのサービスや広報面で相互協力を行った。また、本連携を記念して、『書物学』第16巻(勉誠出版、2019年7月)にて、「特殊文庫をひらく—古典籍がつなぐ過去と未来」という特集が組まれた。

G. 東洋文庫アカデミア

東洋文庫研究員をはじめとする各分野の専門家が講師となり、所蔵資料や

これまでの研究成果などの専門知識をわかりやすく教授する市民向け講座を下記のとおり実施した。

講座名	講師(所属)	期間	人数
イランの芸術 ペルシア書道に親しむ「ライラーとマジヌーン物語」	角田ひさ子(拓殖大学言語文化研究所講師)	2019年4月6日 ～4月20日	6
満洲の歴史Ⅱ	宮脇淳子(東洋文庫研究員)	2019年4月6日 ～4月27日	18
初歩の水墨画講座(『百花詩箋譜』を描く)Ⅰ	伊藤忠綱(二松学舎大学非常勤講師)	2019年4月13日 ～4月27日	13
イスラーム美術の細密画	青木節子(トルコ細密画と文化史の会)	2019年4月8日 ～4月22日	9
ペルシア語の世界:入門編・土日集中	渡部良子(東京大学非常勤講師)	2019年4月13日 ～4月14日	5
満洲の歴史Ⅲ	宮脇淳子	2019年6月1日 ～9月7日	20
イランの芸術 ペルシア書道に親しむ「ナスタアリーク書体の基礎」	角田ひさ子	2019年6月2日 ～9月8日	9
知の宝庫—西欧における古代の図書館から中世・近世・現代の図書館に至るまで	池田勇(元二松学舎大学非常勤講師)	2019年6月7日 ～7月12日	2
初歩の水墨画講座(『百花詩箋譜』を描く)Ⅱ	伊藤忠綱	2019年6月8日 ～8月24日	15
イスラーム美術の細密画	青木節子	2019年6月10日 ～9月30日	9
入門 清朝満洲語講座:清代古典解釈の意外性を窺う①『論語』「八佾」篇	石橋崇雄(東洋文庫研究員)	2019年6月14日 ～8月23日	6
出土資料からみた三国志と三国時代	関尾史郎(東洋文庫研究員)	2019年6月22日 ～7月13日	4
中国医学史散策:漢文帝と淳于意	角屋明彦(明治大学非常勤講師)	2019年6月23日 ～7月14日	21

講座名	講師(所属)	期間	人数
漢字の歴史と最新の動向	笹原宏之(早稲田大学教授)、岩月純一(東京大学教授)、千葉謙悟(中央大学教授)、木村一(東洋大学教授)、吉川雅之(東京大学教授)、吉本一(東海大学教授)、阿辻哲次(漢検漢字文化研究所所長・京都大学名誉教授)	2019年6月29日 ～9月7日	79
文字世界からみる文化と文明の歴史	鈴木董(東洋文庫研究員)	2019年10月7日 ～12月16日	18
イランの芸術 ペルシア書道に親しむ「ナスタアリーク書体の基礎」	角田ひさ子	2019年10月6日 ～12月15日	7
ユーラシアの石人—地中海から東アジアまで	林俊雄(東洋文庫研究員)	2019年10月8日 ～12月17日	5
初歩の水墨画講座(『百花詩箋譜』を描く)Ⅲ	伊藤忠綱	2019年10月12日 ～2020年1月25日	11
東洋文庫の資料を読んでみる(英語編)	小澤一郎(東洋文庫研究員)	2019年10月12日 ～12月7日	8
イスラーム美術の細密画	青木節子	2019年10月28日 ～12月23日	6
アイヌ語で読むカムイユカラ	吉川佳見(国立国語研究所非常勤研究員)	2019年12月21日 ～12月22日	5
イスラーム美術の細密画	青木節子	2020年1月27日 ～2月10日	5
知の宝庫—日本及び中国古代の図書館から現代の図書館に至るまで	池田勇	2020年1月31日 ～2月28日	1
聖獣グリフィンの誕生と伝播	林俊雄	2020年2月11日	6
イランの芸術 ペルシア書道に親しむ「ナスタアリーク書体の基礎」	角田ひさ子	2020年2月7日 ～2月14日	4

講座名	講師（所属）	期間	人数
一味ちがう「大清帝国展」 を愉しむために～政治か ら食物まで～	石橋崇雄	2020年2月8日 ～2月22日	14
初歩の水墨画講座（『百 花詩箋譜』を描く）Ⅳ	伊藤忠綱	2020年2月8日 ～2月22日	12
漱石の漢詩と近代：初期 （洋行以前）の作を中心 に	黒田眞美子（元法政大学 教授）	2020年2月13日 ～2月27日	4
モンゴル帝国から大清帝 国へ	宮脇淳子	2020年2月15日 ～2月29日	30

以上